

あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶ季刊紙です。

第 41 号

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2011年
3月25日



百歳万歳！

元気でデイサービスへ通っています

君島キノエさん（101歳）

杖を使用して自力で歩いていきます。お話が大好きで、皆さんとも良くお話をして穏やかな時間を過ごしています。 みんなの家

関谷イキさん（100歳）

三度の食事はきちんといいただき朝食は肉、卵野菜を食べ、髪をとがし身だしなみを整え一日が始まります。デイでは歩く姿が模範であやかりたいとみんなの人気者です。

菅間記念病院デイケア

大島シマさん（100歳）

歌が大好きな方です。デイサービスで色々な歌を皆で楽しんでいきます。これからも元気で、デイサービスを利用してもらいたいです。

社協デイサービス

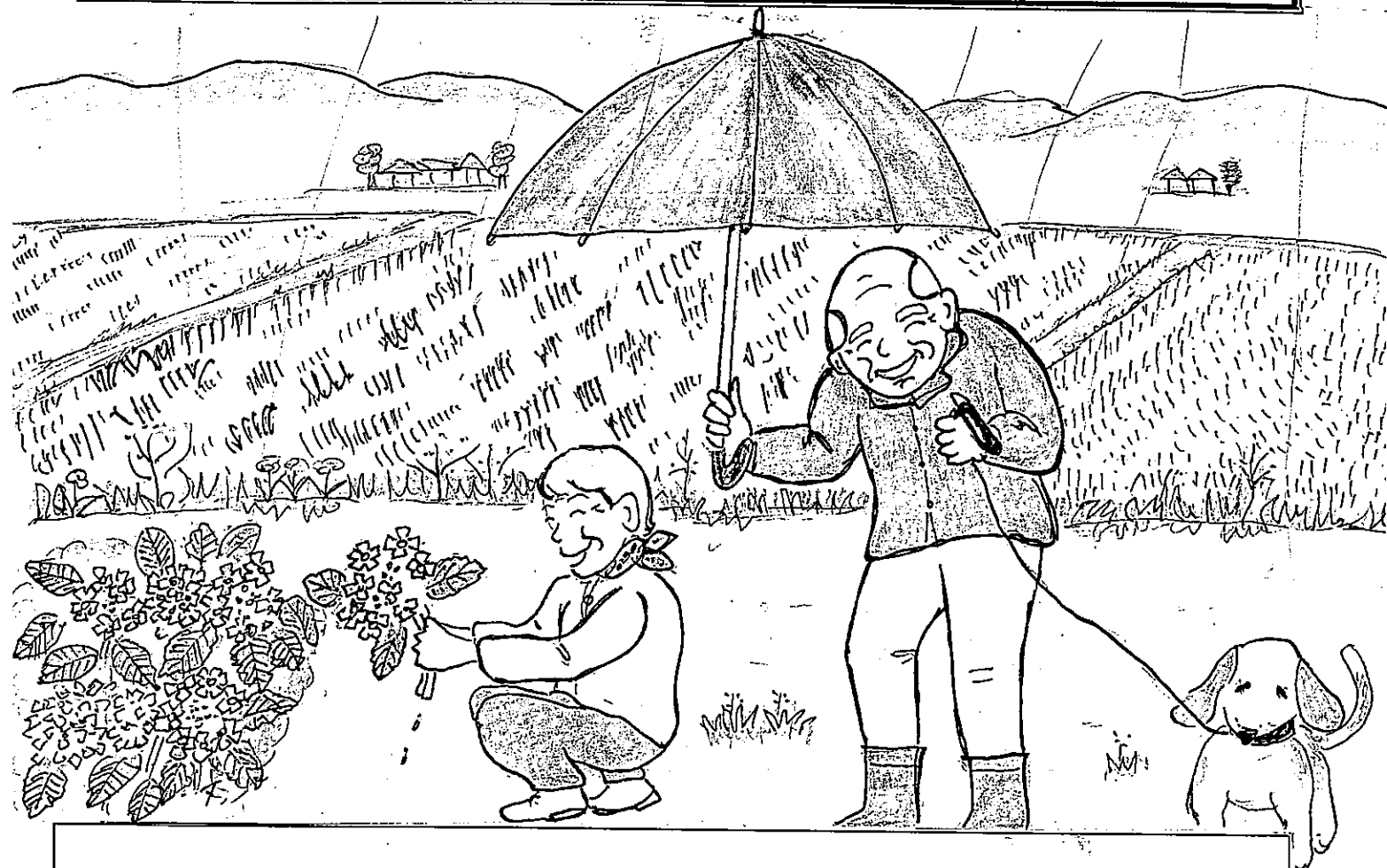
他の施設でも元気に過ごしている百歳の方達がいらっしやいます。いつまでも自分らしく長生きしていただきたいです。応援します！



あやとり

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2011年
6月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶ季刊紙です。



東日本大震災

はじめに、この度の東日本大震災で被災された方々とそのご遺族に対しまして、心から哀悼の意を表します。また、いまだ避難生活を送られている皆様にお見舞いを申し上げます。

那須塩原市でも、黒磯地域と塩原地域で震度五強、西那須野地域で震度六弱を観測し、大変大きな揺れを感じました。幸い、市内には人的被害はありませんでしたが、いたる所で石塀の倒壊や瓦屋根の被害が見られ、鍋掛地区では、家屋の大きな被害がありました。五月末現在での市内の住宅の被害状況は、全壊十四件、大規模半壊七件、半壊二十七件、一部損壊二五八件となっています。

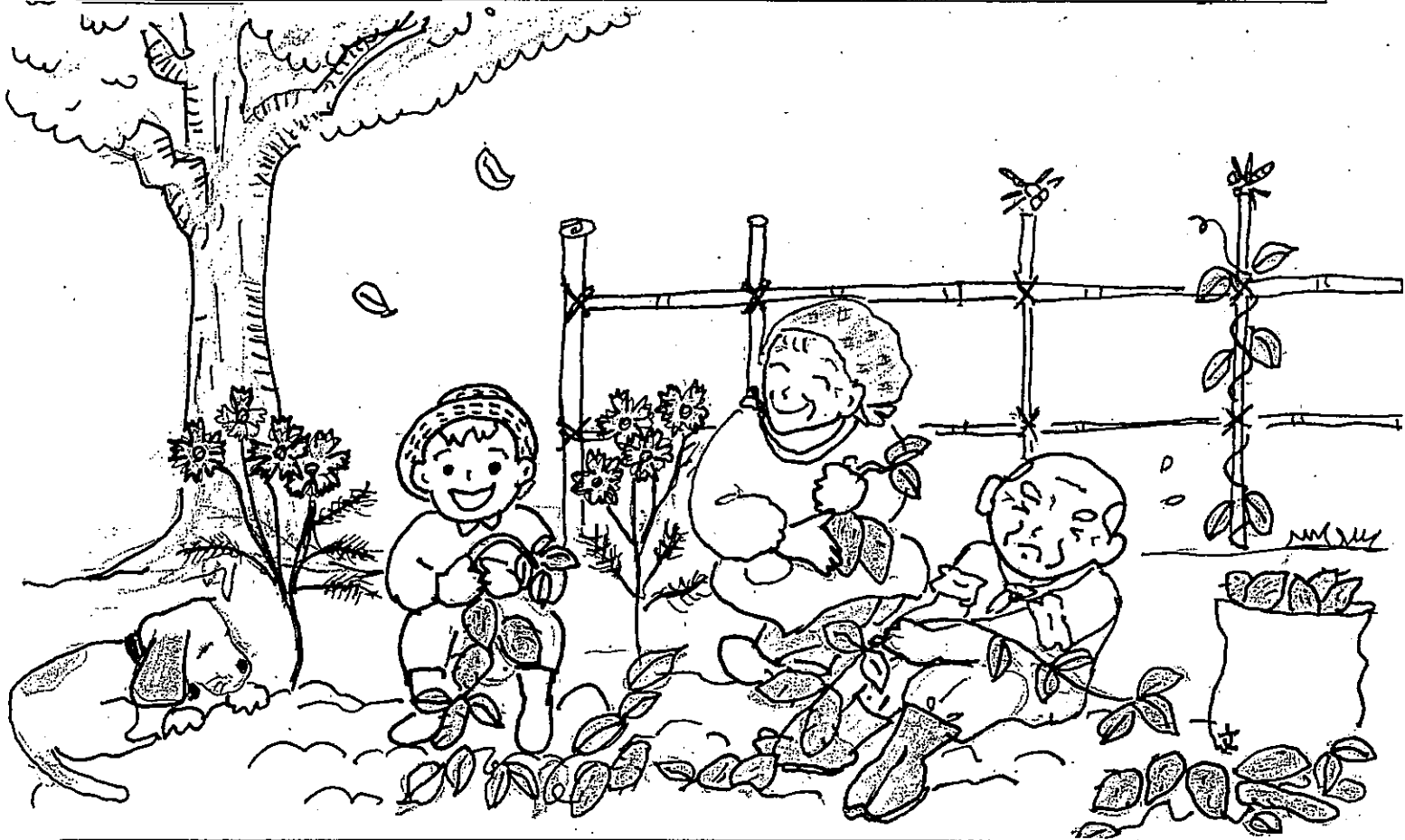
今回の震災は、余震が続いたり、計画停電があったり、不安な日々が続きました。日ごろの備えを再度点検し、お一人暮らしの方やお年寄りだけの世帯の方は地域の民生委員や地域包括支援センターに、いざという時の避難の方法などを相談しておくことをお勧めします。



あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2011年
9月25日



敬老の日

今年も各地で、色々な敬老会の催しが行われましたが、意外と知られていない敬老の日の由来。

ひとつは聖徳太子が今で言う老人ホーム【悲田院】を建立した日。もうひとつは元正天皇が【養老】の故事にならって年号を【養老】としたのが九月十五日だった説です。

養老と言うのは、親思いの青年が祈ると霊泉から酒が湧いて、その酒を飲んだ老いた父親が元気になったと言うお話です。

どちらも確かではない言い伝えですが、お年寄りを大切にすることは、今も昔も変わっていない事を教えてくれます。

目まぐるしい現代においても私達は敬老の日だけに限らずお年寄りを敬愛する心を持ち続けたいものです。

敬老の日はちよつと立ち止って、思いやりの心を取り戻す日でもあって欲しいと思います。

あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2011年
12月25日



十二支のはなし

新しい年が来るとその年に動物の名前がついて
います。それが十二支です。

昔、年の暮れのことです。神様は元日の朝「山
のてっぺんまで挨拶に来るように。着いた一番か
ら十二番までの動物の名前を新しい年に順番につ
けることにします」とおふれを出しました。動物
達はわくわくして正月を待ちました。丑は歩くの
が遅いからと前日の夕日を見ながら出かけまし
た。子は丑の背中によこんと乗りました。山に
着くと丑から降りて神様の前に一目散。一番は子、
二番は丑、三番は寅、四番は卯。辰は五番、巳は
六番、未と午はいつも仲良し、山に着くと未は午
さんどうぞと前にそっと押しました。七番は午、
八番は未、山道で戌と申がけんかをしています。
酉が間に入ってけんかを止めました。申は九番、
酉は十番、戌は十一番になりました。申と戌が続
くとまたけんかになるといふことで酉を間におき
ました。亥は神様の山を間違えて違う山に行っ
てしまいました。亥が十二番目。こうして新しい年
にはこの十二匹の動物の名前が付けられることにな
りました。

十二支は年、季節、時間、方位などを表す物と
して古くから今日に至るまで使われてきています



あやとり

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2012年
3月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。



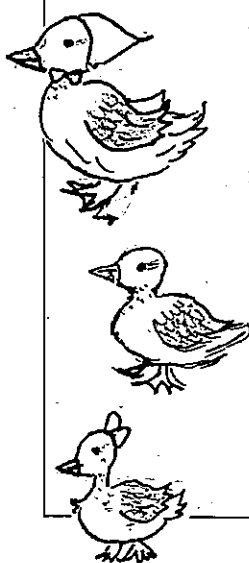
介護保険サービスのあゆみ

介護保険制度が始まって四月で十三年目になります。最初は手続きの方法や慣れない横文字など、分らないことが多く、誰が何をしてくれるのか戸惑いながら、言われたとおりに利用していた方もいたのではないのでしょうか。平成十八年に大幅な見直しがされ、介護度が進まないように介護予防サービスが始まり、訪問先の介護保険事業所では男性利用者さんが多くみられるようになりました。また、地域密着型サービスが始まり、住み慣れた地域で暮らし続けられるような制度に進んでいます。

介護保険制度は三年毎に見直されており、二十四年度からは第五期計画となります。

「十年一昔」と言われますが、行政や介護に携わる人達のご努力は勿論ですが、何より介護サービスを利用される皆様の意識が、制度を定着させたのではないかと思えます。

相談員も利用者側に立った介護保険制度であって欲しいと活動してまいりました。これからも皆様のご意見を伺い、行政や事業所等への橋渡し役をして行きたいと思っております。

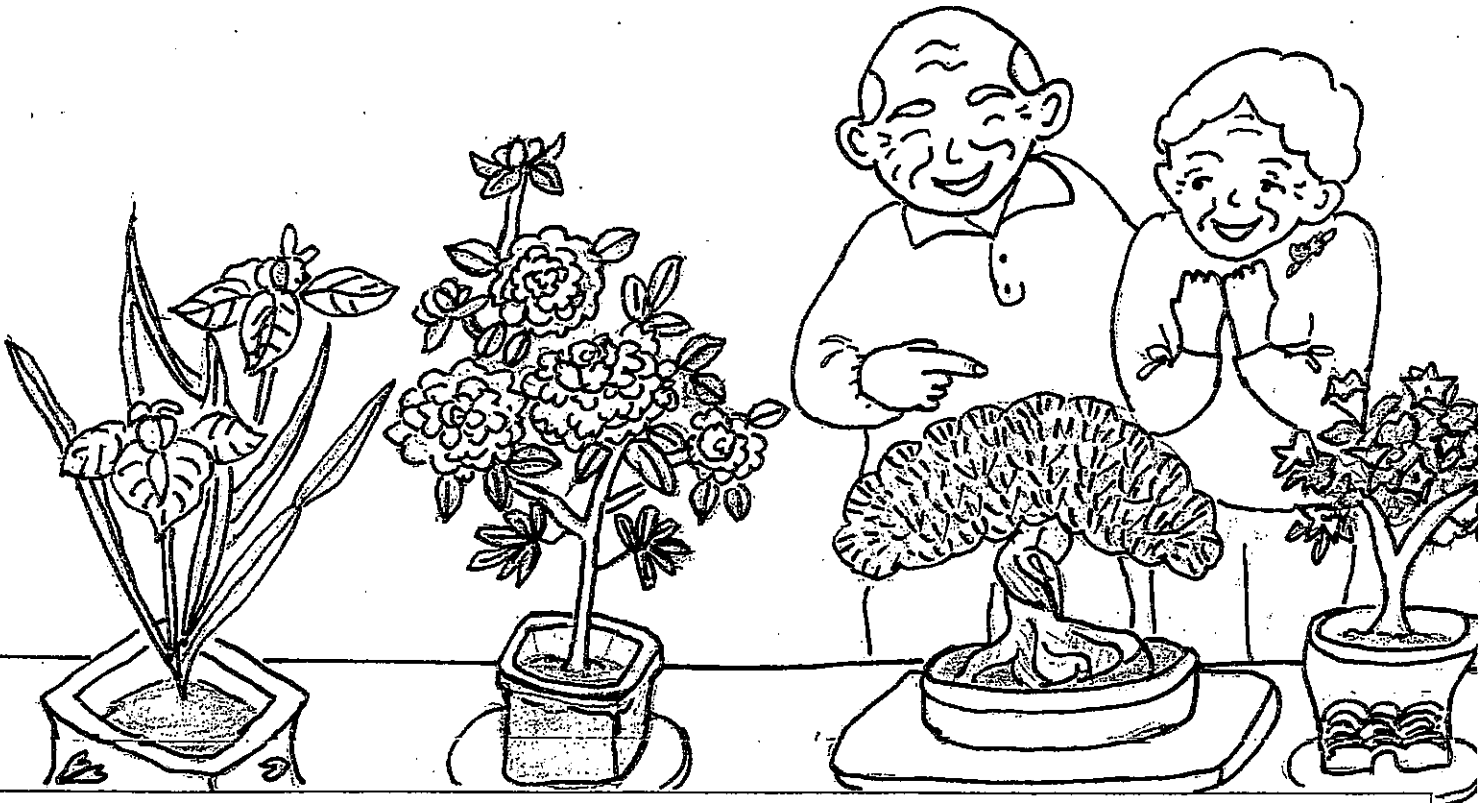


あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。
介護認定を受けている方に送付しております。

第 46 号

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2012年
6月25日



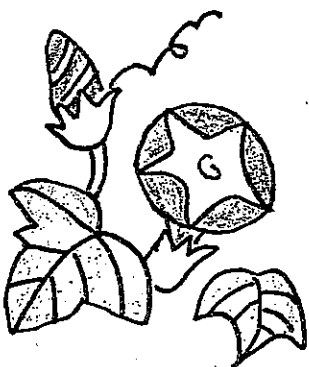
「あやとり」のあゆみ

「あやとり」は平成十三年に介護認定者と相談室を結ぶ季刊誌として創刊されました。当初は旧黒磯市の介護認定者に送付していましたが、平成十七年3市町合併に伴い、現在は全市内の介護認定者にお届けしています。より介護保険を身近に、分かり易く、又皆様の貴重なご意見を施設や行政に伝え、介護保険制度がより良くなるようにと願いながら発行しています。

相談員十一名の手作りですので、記事集めや編集に悪戦苦闘しております。お蔭様で楽しみにして下さる読者の方も増えて、「あやとりさん」と呼ばれたり、嬉しいお言葉を頂いたり励まされております。

皆様からのご意見で、「介護の情報が入っていて分かり易かった」「絵も良い」「今はまだサービスを利用していないが、デイサービスとデイケアがある事を初めて知った」「最初から最後まで全部見ている」等の有難いご意見も頂きました。

今後も皆さんに喜んでもらえる「あやとり」になるように頑張ります。

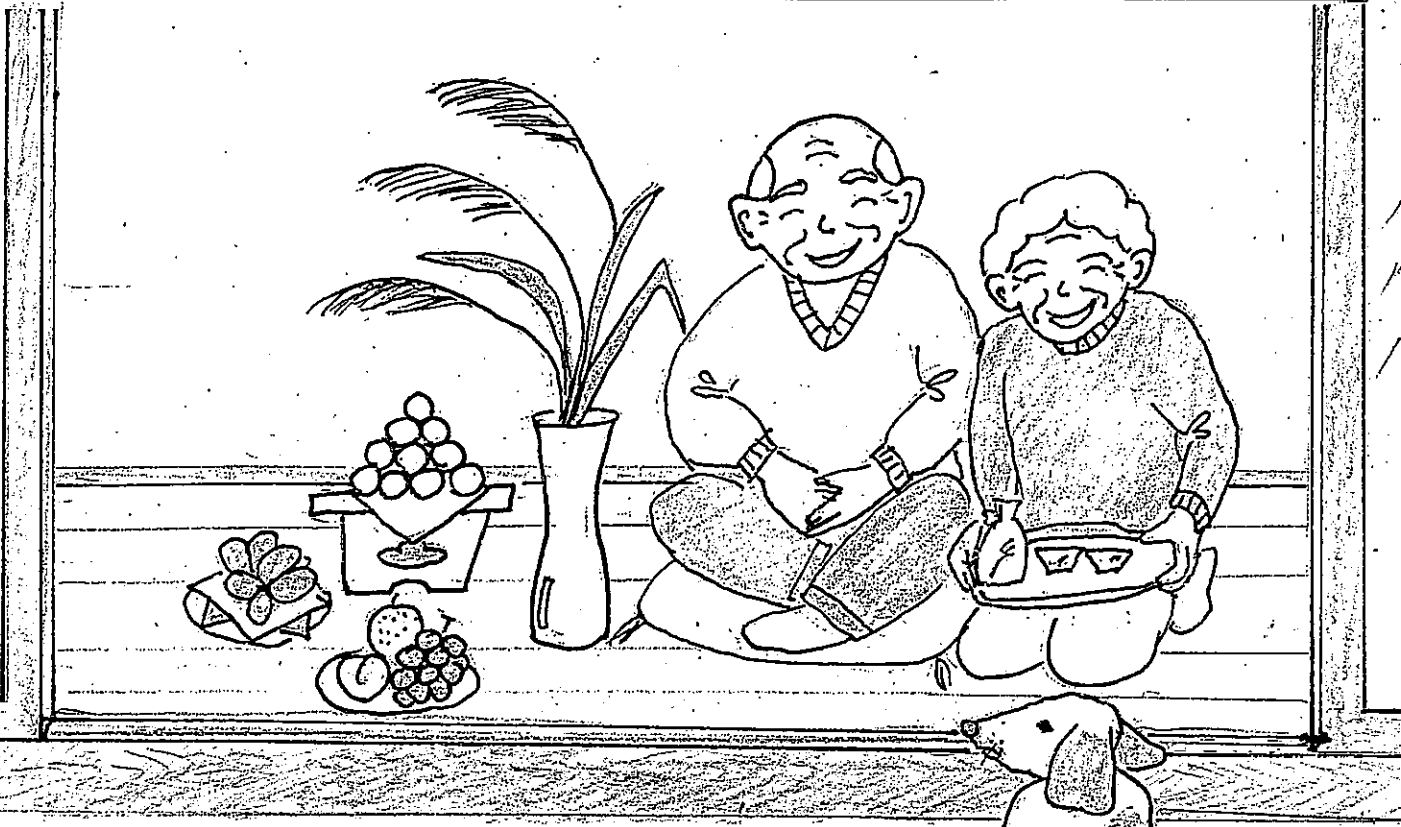


あやとり

第 47 号

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2012年
9月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。
介護認定を受けている方に送付しております。



地域のみんなで助け合い

九月一日は防災の日でしたね。今年も各地で防災訓練が行われましたが、昨年の東日本大震災以来、防災意識は益々高まりました。ところで

- ・ 地域の避難場所をご存知ですか？
- ・ 避難訓練に参加したことがありますか？

那須塩原市では、いざという時のために、高齢者へ救急医療情報キット配付や防災マップ作成などの対策をしています。

歩けないから、迷惑をかけるからなどと思わず、積極的に参加し、日頃からご近所や地域の皆さんが声を掛け合い、助け合えるお付き合いを大切にしたいですね。



あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。
介護認定を受けている方に送付しております。

第 48 号

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」

発行日；2012年
12月25日

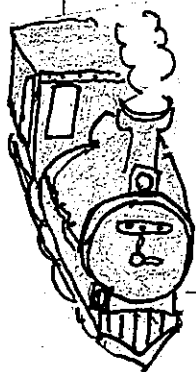


那須野が原・交通の歴史

明治十九年十月に東北本線の宇都宮～那須（西那須野）間が開通し、続いて十二月に那須～黒磯間が開通しました。駅を利用する人の為に人力車や乗合馬車が営業を始め、大正になるとタクシー・バスなども走るようになりました。昭和に入り車が増えると未舗装だった道路は砂埃や雨の日は水溜りに悩まされたそうです。又、蒸気機関車の煙やススでトンネルを抜けると乗客の顔が真っ黒になったりしました。

大正七年に営業を始めた東野鉄道の西那須野～大田原・黒羽を結ぶ路線は登り坂は人が歩くようにゆっくりで、下り坂は一気にすべり落ち、利用した人にはスリル満点だったようです。五十年の歴史を閉じ、今は歩行者・自転車専用道として整備され「ぼっぼ通り」の愛称で市民に親しまれています。

新幹線開通の昭和五十七年に、東那須野の駅名が那須塩原になり、今の高速交通が私達の生活を便利にしていますが、昔を懐かしく思う利用者の皆さんも多いようです。



あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。
介護認定を受けている方に送付しております。

第49号

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2013年
3月25日



★ 介護サービス相談員は何をする人？

介護相談員派遣事業は、市町村に登録された介護相談員が利用者の疑問や不安をお聞きし、サービス提供事業者や行政に橋渡しをしながら、問題の改善や介護サービスの向上を図ることを目指します。

那須塩原市の介護サービス相談員は、現在十一名で六十七ヶ所の施設訪問を行っています。

介護保険制度発足と同時に活動をはじめました。

今では全国に広がり、現在五百余りの市町村が実施しています。

平成十二年のスタート当時より活動してきた六名の仲間が、平成二十四年十一月二十七日、東京にて「全国相談員活動報告会」の席上で表彰を受けました。

今後も、一層気を引き締めて地域づくり推進の一助を担って参りたいと思います。



相談員のシンボルマーク

くうちゃんです

あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。
介護認定を受けている方に送付しております。

第 50 号

発行；那須塩原市介護
サービス相談機関
「介護相談室」
発行日；2013年
6月25日



認知症の母のひとり暮らし

(家族から)

○認知症と診断された母がひとり暮らしを続けられるのは、認知症の早期受診とケアマネさんやヘルパーさんのお陰と感謝しています。

月一度の受診では緩やかに認知症は進んでいるけれど、このまま見守っていきましようと言う主治医を信頼しています。

通い慣れた整形外科へも行きたいので、同居も入所も「嫌」を貫いています。

○父亡き後、ひとり暮らしをするにあたり、まずご近所へ挨拶し説明と理解をお願いしました。今では温かく見守って頂いて助かっています。

○最近、介護度が4になり益々目が離せませんが、月に十日のショートステイ、週三回のデイ利用。ヘルパーさんのまめな援助を受け、娘、息子、嫁が手分けをして通い、一人きりの日を減らすようにしています。

テレビは大音量、水道は出しっぱなしと心配は尽きませんが、母が機嫌良く自宅で暮らせて家族も幸せだと思っています。

